

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告及び課題

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
<p>子育て支援に関するニーズが多様化する中、地域の方々の参画を得ながら、安全・安心な子どもの活動拠点を設けると共に地域間での参加者の格差を縮減する必要がある。</p>	<p>町内4小学校で、放課後に空き教室等を活用して学習支援を実施。公民館等の施設で、雑貨作り、お菓子作り、将棋、ニュースポーツ、和太鼓体験など様々な体験教室を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き教室を活用して継続的な学習支援を実施する。 ・土曜日や夏休みなどの参加しやすい日にお菓子作りやユースポーツ、和太鼓などの様々な体験教室を実施する。 ・ホームページやフェイスブック、れんらくアプリ等を活用した周知活動を増やす。 	<p>・学習支援の場を継続的に設定することで、子どもの居場所を確保するとともに学習習慣を定着させる。地域の方々の参画を得ながら様々な体験講座を実施することで、すべての地域での子どもの活動の場を増やす。</p>	<p>参加延べ人数</p>	<p>4200人</p>	<p>4500人</p>	<p>4700人</p>	<p>本年度の目標値を上回る成果を得ることができた。公民館での実施教室は、町内小学校全てを対象としているが、実施施設により参加人数の格差が見られるため、今後もホームページやれんらくアプリ等を活用した、幅広い周知活動を増やしていく必要がある。</p>